

(別紙1)《会派用》

2023年 1月 31日

狭山市議会議長
太田博希様

会派名 市民派無所属
代表者氏名 高橋ブラクソン久美子

視 察 報 告 書

このことについて、別紙のとおり、報告がありましたのでご報告いたします。

受付
第 663号
-5 1.31
狭山市議会

代 表 者 高橋ブラクソン久美子 様

視察者(代表)氏名 高橋ブラクソン久美子

視 察 報 告 書

このことについて、次のとおり報告します。

- 1 期 間 2023年 1月 17日～ 2023年 1月 19日 (2泊 3日)
- 2 視 察 先

檮原町立図書館 オーテピア高知(高知図書館) ワンパーク高知(アニマルランド)

- 3 調 査 事 項

檮原町立図書館：隈研吾さん設計の図書館の概要

オーテピア高知：県営、市営が合併された図書館の概要

ワンパーク高知：市営動物園についての概要

- 4 視察参加人数 1 人

参加者は次のとおり 高橋ブラクソン久美子

- 5 調 査 概 要

1. ゆすはら 雲の上図書館



この図書館は、かの有名な隈研吾さん設計の図書館である。まず外観からして、隈さんら

半地下。ゆすはらステージは少し階段が急である。コンサートの際の椅子代りにするからかもしれない。緩い方の階段を使えばなんとか上がれる。しかし、壁際に多くの本があるので、登り降りが難しい人には使い勝手が今一だろう。私のような杖を使う人間にはちょっと登り降りが大変だった。

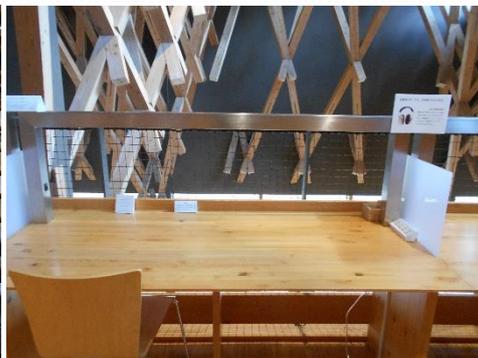
そもそも2階のはずだが、ここは4層になっている。それは前頁下の図を見れば分かる。ステージから少し上って、井戸端エリアへ。そこから少し上ってコミュニケーションラウンジへと続く。格好の良いデザイナーズ図書館は、何遍も図書館に通って、その利用の仕方を熟知せずには、図書館として使いこなせないかもしれない。



まず、「いろは」毎に図書がまとめられている。そのまとめ方も特徴があるので、よく分からない。この図書館を使いこ

なすには、情熱が必要である。只、素晴らしいのは検索で、検索した本が何処のどの棚にあるかが分かるようになっている。現代の図書館ではすべてこうなっているのかもしれない。返本処理をきちんとしないとこの検索システムは動かない。

それと最近の図書館の何処にもある机の列。ここはコンピューターを持ち込んで良いし、WIFI が飛んでいるので、インターネットに接続も可能である。見て分かるようにコン



セントが机上有るので、PCその他の機器の利用やスマホの充電も可能である。

貸し出しや返本は総合カウンターで行な

うことであるが、過疎の村であるから、PCからの予約、貸し出しもある。

さて、この図書館は隈研吾さん設計のデザイナーズ図書館である。きっと高い建設費だったと思い、伺った。全建設費が14億5823万円。教育委員会が入り、図書館が入り、学びの場、憩いの場、文化継承・創造・発信の場にしようという多目的施設である。財源は起債(12億6720万円)、基金繰入(1億8293万円)、一般財源(810万円)という。そもそも、橿原町の令和4年度の一般会計は63億円規模、特別会計を含めても91億である。そういう中で、14億円の図書館を建てるという行為をどう考えるか。とても素敵な建物だから、隈研吾さんの設計する建築物は橿原町の住民の誇りである。

(別紙)

図書館事業費総括表

(単位：千円)

項目	支出全部(支出した年度で記入)				計	財源内訳			備考	工期
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		国債 (億円)	基金 (百万円)	一般 財源		
設計業務委託料	38,488	7,304			45,792					H27.6.2~H28.10.31
施工管理委託料		3,647	31,993		35,640					H28.11.4~H30.2.27
建築助産費		483,959	725,951		1,209,910	1,267,200	73,642	0	建築本体：設備	H28.11.4~H30.2.27
その他工事費			49,500		49,500				外構工事	H29.8.22~H30.3.30
				8,100	8,100	0	0	8,100	昇降機設備工事	
その他委託料		2,992	41,580		44,572	0	44,572	0	運営支援委託業務 (図書館と地域をむすぶ協議会)	
			1,944		1,944	0	1,944	0	サイン製作・富岡町建築具製作業務 (図書館と地域をむすぶ協議会)	
			4,860		4,860	0	4,860	0	情報機器導入・ネットワーク構築 (アカバヤシ)	
			8,000		8,000	0	8,000	0	メディア・ジオラマ制作業務 (外題未定)	
備品等			49,912		49,912	0	49,912	0	図書費、図書閲覧用備品等	
計	38,488	497,902	913,740	8,100	1,458,230	1,267,200	182,930	8,100		

図書館の隣には、隈研吾さん設計の高齢者福祉施設があり、図書館の前にはひろい芝生広場があり、図書館の脇にある町立のこども園のこどもたちも遊んだり、運動会を催したりができる。



それに、この構原町は財政収支を見ても、3000人強の人口の町としては、健全だ。一般会計が60億円の構原町であるのに、特定基金も含め基金残高が70億円もある。電気を使った金額を基金に積み立ててきたのだ。山の中の町だから、人口が少ないからと言っても、リーダーの将来を見る目があれば、決して捨てたもんじゃない。

町内にこれほど隈さんの設計した建築物があるところはないだろう。県外からの見学者が絶えないのも、隈さんツアーを組んで観光誘致をできるのも、前からの町長はじめ、議会の理解の故である。

しかし、狭山市ではこのような文化的な建物に14億円も掛けることができるのか。財政的に言えば、狭山市だって14億円規模の文化施設を建てることは可能だろう。430億円の一般会計規模の時に260億円もする都市整備事業をしてきた狭山市である。要するに、立派な文化施設を造るかどうかは、市長、議会の見識をとわれるところである。

2. オーテピア高知



オーテピア高知は高知城の近くにある緑豊かな文教地区に建設された。一方、この地区は高知市の中心市街地にあり、商店街の一角でもある。集客力のある図書館等が入った建物だから、オーテピア高知は商店街の会員として、イベント等で共同する事もあるそうだ。

平成 20 年、この場所は追手前小学校敷地だったが、移転にともない、高知市長が高知県知事に図書館の合築を提案したのが発端だった。平成 20 年に県と市でワーキンググループを結成、合築の方向で報告書を作成、県市連携会議で連携して基本構想策定に着手する事に合意し、平成 22 年 10 月には県、市議会共に基本構想関連予算を議決した。

平成 25 年、追手前小学校の閉校後、すぐに解体工事をおこない、その後、建設工事に着手した。竣工は平成 29 年 12 月。準備期間を経て、平成 30 年 7 月にオーテピアが開館した。オーテピアの詳細は以下。

2-1 建物概要

名称	オーテピア		
用途	図書館、視覚障害者情報支援拠点施設、科学館		
建築主	高知県		
管理	高知市		
運営	高知県及び高知市		
所在地	高知市追手筋二丁目1番1号		
指定地域	商業地域	防火地域	準防火地域
敷地面積	6,605.76㎡ (多目的広場・遊歩道を含む)	建築面積	4,182.40㎡
延床面積	22,765.93㎡ (機械式地下駐車場を除く) うちオーテピア高知図書館 17,780.72㎡		
高さ	38.51m (高知みらい科学館プラネタリウムドーム屋根を含む)		
階数	5 階 (建築基準法上は地上 9 階、地下 1 階) うちオーテピア高知図書館は 1・2・M3・3・M4・4・M5 階		
構造	骨格造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造		
基礎	既成杭 (先端翼付き回転貫入鋼管杭)		
中層	2 階梁下に高減衰系積層ゴム、鉛プラグ入り積層ゴム、直動転がり支承、オイルダンパーを用いた中間層免震構造		
外装	1 階	RC打ち放し (杉板型枠、フッ素樹脂表面保護材)	
	2 階	高温熱処理木材	
	3~5 階	外部化粧パネル (GRC、低汚染型フッ素塗装、木目調)	
屋根	外装材露出A防水、フッ素ガルバリウム鋼板		

下の写真のように、県と市が2つの館を造るのではなく、同じ館の中で棲み分けもせず、図書館としてあるのは、利用者には都合が良いだけであろう。県が持っていた資料や本と、市が持っていた資料と本とをその場で借りたり読めたりするのである。窓口にいる人が県の職員であろうと、市の職員であろうと、サービスが良ければ市民・県民にとって良いのであるから。



上の図で灰色の所は事務室などが含まれるが、中3階、中4階があり、書庫となっている。私の知っている限り、書庫は大抵地下にあった。そして、湿気でかび臭かった。しかし、この図書館のように、多量の書籍が明るく、温度湿度も調整しやすい階上にある書庫は、私としては初めてだった。

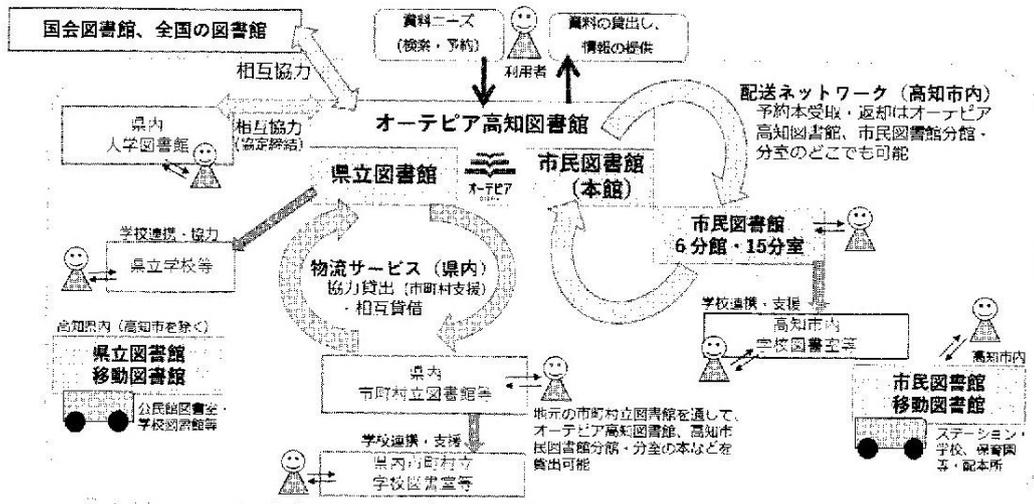
この書庫は、ガラス張りで、下の階の閲覧室が見える。書庫は業者に委託して管理してもらっている。登録して、申請すれば、市民も書庫に入って蔵書の検索などもし、貸し出しもできるという。開かれた書庫(?) 最近の図書館は狭



山市の図書館と比べると何という違いだろう！！

7 高知県立図書館・高知市民図書館のネットワーク

(1) 図書館ネットワーク



第9条 この連携協約は、高知県知事及び高知市長がこの連携協約を締結した旨の告示をした日から効力を生ずるものとする。

(別表) 第3条関係

共通業務	内容	役割分担	
		県(甲)	市(乙)
事業企画・広報業務	新たなサービス・取組の企画、専門機関と連携したイベント等の企画・実施のほか、広報の企画・実施、視察対応、職場体験学習の受け入れ等を行う。	甲が主体となって乙と相互に連携しながら実施する。	甲と相互に連携しながら実施する。
調整・管理・運営業務	予算、事業、研修計画等の調整、サービス計画を始め事業の進捗管理・評価、図書館協議会の運営等を行う。		
システム管理・運営業務	図書館情報システム及びホームページの管理及び運営を行う。		
窓口等での直接サービス 課題解決支援サービス業務を除く。	窓口における図書館資料・情報の貸出し、返却、閲覧、予約、レファレンスサービス等のほか、企画展示、イベント、出前図書館等を実施する。	乙と相互に連携しながら実施する。ただし、県内の子ども読書活動支援については、甲が主体となって乙と連携しながら実施する。	乙が主体となって甲と相互に連携しながら実施する。ただし、県内の子ども読書活動支援については、甲と連携しながら実施する。
課題解決支援サービス業務	専用カウンターでの資料及び情報の提供並びに専門機関の紹介のほか、専門機関と連携した相談会、企画展示等(この表において「窓口業務等」という。)を開催する。また、窓口で即時に対応できない調査、照会等への対応及びアウトリーチを行う専任司書による専門機関との関係づくりのほか、専門機関と連携したセミナー等の企画、広報等(この表において「窓口以外業務等」という。)を行う。	乙と相互に連携しながら実施する。ただし、窓口以外業務等については、甲が主体となって乙と連携しながら実施する。	甲と相互に連携しながら実施する。ただし、窓口業務等については、乙が主体となって甲と連携しながら実施する。
施設管理等	施設管理等業務については、事務委託規約の定めるところによる。		

高知県と高知市との間の高知県立図書館に係る事務の委託に関する規約
(平成29年10月13日告示)

県と市の図書館を合併する事は、市民・県民にとってあまり関係がない。それどころか、今まであった資料を見るのに、あちこちに行かなくても良いから、メリットの方が多い。しかし、県と市では図書館の位置づけが違う事から、役割分担を明確にした。前頁の図が示された役割の図である。県と市は連携協約を結び、役割をはっきりさせた。

県内の市町村図書館等の支援は県立図書館が担う。資料と直接貸し出しと市内全域の図書サービスの充実／発展については市立図書館が行なう。図書の根幹業務は支所を中心として専門職を確保する。直営とする。市は県から業務の委託を受けている。例えば、施設管理など。また、正職員は県市共にそれぞれを併任している。しかし、館長などはそれぞれ県と市で2人。バックヤード業務は、民間委託している。施設に関しての費用負担割合は県10, 市7の割合。事業運営はそれぞれ1:1である。このシステムの悪い点は、会議が多くなり、決定に時間がかかるところだそう。

市の職員が54名、県職員が44人、計98人で、そのうち60人が司書の資格保有者である。表を見れば分かるが高知市の正職員は26人、非正規職員は28人である。オ

2 職員構成

(令和5年4月1日現在)

職員数 (採用職種別内訳)

(単位:人)

	採用職種	正職員		非常勤職員		パート職員		合計	
		司書資格有	司書資格無	司書資格有	司書資格無	司書資格有	司書資格無		
高知県	事務	6	0	0	0	0	0	12	(3)
	司書	23	0	0	0	0	0	31	(31)
	教員	1	0	0	0	0	0	1	(0)
	小計	30	23	0	0	0	0	44	(34)
高知市	事務(行政)	15	6	0	0	0	0	37	(11)
	司書	11	11	0	0	0	0	15	(15)
	学芸員	0	0	2	0	0	0	2	(0)
	小計	26	17	2	0	0	0	54	(26)
合計	56	40	2	0	0	0	98	(60)	

※司書資格有には司書補も含む。

※合計欄の()は司書資格のある者で内数

オーテピア高知の運営に関する事を市が担っているのも、長時間の業務となり、任期付き短時間勤務職員や会計年度任用職員が必要となったのだろう。

このオーテピア高知は開館以来、令和5年度中に400万人の入館者が見込まれている。これには質量共に充実した蔵書とサービスの提供が寄与している。例えば、図書館資料費は県が1億円、市が8千万円ほどであり、市の分館部分の費用を差し引いても、年間1億4千万円もかけている。YouTubeの作成などの発信も頻繁におこなって、サービスの紹介をし、またコロナ禍のこの何年かは特に発信をふやして、すでに52本を作っている。

電子図書館もあり、5800タイトルの電子図書を貸し出している。高知市は高知県人

口のほぼ半分の3.2万人を要している。すなわち、県内の多くの小さな市や町村に本の貸し出しをするよりも、電子図書の貸し出しの方が時間と手間もかからない。県民にも、メリットがある。わざわざ高知市に出てくる必要もなく、本が貸し出されるのを待つ事もないからである。

5 実績

オーデビア高知図書館 目標値 (R3年度時点)	開館前 実績 (H26年度) ※県・高知市 の計	うち 県立 図書館	うち 市民図書館 本館	R元年度 <1日平均>	R2年度 <1日平均>	R3年度 <1日平均>	H26年度/ R3年度比	
① 年間個人 貸出点数	110万点	519,892	181,882	338,010	1,064,469 <3,741>	1,018,409 <3,785>	1,134,070 <3,818>	2.18倍
② レファレンス 件数	3万件	23,989	13,117	10,872	37,914	26,530	27,627	1.55倍
③ 来館者数 (オーデビア全体)	100万人	620,158	245,055	375,103	1,028,441	707,197	766,467	1.24倍

高知みらい科学館 目標値 (R3年度時点)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
① 入館者数	20万人	245,001	214,591	114,412
② プラネタリウム観覧者数	5万人	56,390	52,854	25,435
③ 利用学校数	180校	253	194	180

R2.3.4~3.24 新型コロナウイルス感染拡大防止のため全館休館
 R2.4.10~5.11 同上
 R3.8.27~9.12 新型コロナウイルス感染拡大防止のため高知みらい科学館休館



左：図書を拡大して読める装置

右：自動ページめくり機



左：自動貸出機

右：貸し出し用コンピューター、最大2時間まで



こども用の図書館：お話の部屋や閲覧室、本の展示、親用の授乳やオムツ換え室など。



左：今や何処にもある学習室。勿論コンピューターもちこみOK。右：これまた何処にもある新聞読むコーナー。朝から多くの人でいっぱいでした。

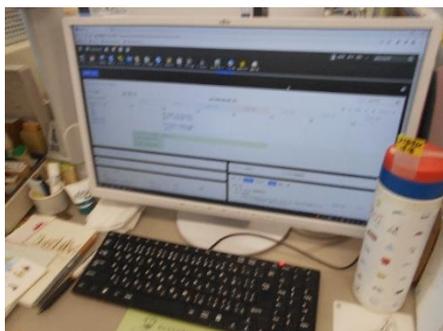


右も左もマガジンラック。もっとあった。たくさんのジャーナル、マガジン、月間図書などがあり、豊富な資金を感じた。



豊富な資金を目の当たりのしたのはAV資料の多さである。ため息が出た。棚の横には、ちゃ

んと視聴コーナーがあった。親切だ。狭山市にはAVコーナーのそばには視聴コーナーはない。



左は、職員用のパソコンで、97人という職員を結ぶためのツール。サイボーズを用いていた。

オーテピア高知は、多くの木材を多用していた。高知県らしく思った。構原との違いは、フラットの作りで身体障害者には動き回り安く、昇降の際には、エレベータ

一やエスカレーターにも助けられた。只、広い。使いこなすには時間がかかるだろうと思
ったが、ここも本の索引がしやすく、本の位置まで知らせてくれるので、本を見つけ出す
のは楽だろう。

先ほども書いたが、資金が豊富にあるというので、蔵書の数も幅広くあった。書庫で帝
国議会議事録を見たが、これなどの資料は県議会または県の図書館の蔵書だと思った。狭
山市にはないだろう。書庫の検索機能も素早くできるようになっており、うらやましかっ
た。新しいコンセプトの図書館を視察すると、本当に狭山市図書館の狭さが感じられる。
狭山市は蔵書数も多にもかかわらず 古い本は書庫にしまわれ、その書庫も市民には開
かれていない。

様々な機器・文字拡大、自動ページ繰り、自動貸し出し、返却などのシステムを見ると、
本当に狭山市図書館が前近代的に思えてならなかった。

それだけでない。小さな市町村が多くある高知県で、県や高知市の図書館だけが充実し
ても使い勝手が悪い。ホームページ、YouTube などのコンテンツの充実や電子図書などの
整備などは、そんな市町村民に対して良いサービスとなる。

全体として、狭山市図書館のリニューアルが必要であると痛感した視察だった。

3. わんぱく高知アニマルランド



港に面した所に、児童遊園地わんぱくこうちがあ
る。ここは、アニマルランドという動物園、プレイラ
ンドという遊園地（有料の乗り物がある）、親水公園
等、遊ぶ広場などがあり、無料で遊べる場所である。

動物園は元々高知城内にあった。70年ほど前に博
覧会のような催しがあり、その際に動物園が造られた
そうだ。しかし、1993年に古くなった動物園をこ
ちらに移転したそうだ。昔は象などの大型動物もいた
そうだが、今は、大型動物の数も昔より少なくなり、
高知県の動物や、保護する動物を集めているようだ
った。

動物園は園長が女性の獣医だった。お話を伺って
いて、そういえば横浜ズーラシアの園長も狭山市智光山

公園こども動物園の園長も
女性だったと気づいた。構原
町、高知市の図書館長も共に
女性だった。最近では女性の管
理職が増えたと感慨深い。



現在飼育動物
 哺乳 22種 73点
 鳥 30 " 144"
 爬虫 14 " 58"
 両生 32 " 311"
 魚 1 " 3"
 計 99種 589点
 (R4.3.31)

現在アニマルランドにいる動物の数。全部で99種、589点が展示されている。最近では、トサシミズサンショウウオの繁殖にも成功したという。

運営は市の直営である。ボランティアやスポンサーシップなどは受け付けていないが、動物の食料などの寄付はありがたく受け付けている。農作物や肉の寄付はありがたい。

サンショウウオなどの餌は園内でミミズなどを掘り出して与える事もあるという。



左の写真の水槽の右上にいるトサシミズサンショウウオは、繁殖させたものを園長自ら育てているという。食べ物は、ゴキブリだという。そのゴキブリを見せていただいたが、生きていて、小型で5ミリぐらいだった。週3回ほど与えるという。目の前の生きてる物に反応して捕まえて食べるらしい。こういう水槽がいくつも並んでいた。研究しているのだろう。

様々な動物を見せていただいた。

アニマルランドを楽しく！
 入場のご案内
 観覧時間
 休園日
 交通機関
 料金
 プレイランド
 アニマルランド
 〒781-8010 高知県高岡郡土佐町土佐1-1-1
 TEL: 087-822-1111
 ホームページ: <http://www.animal-land.jp/>

わくわくドキドキ 世界の動物も日出会えよう!
 4 アニマルキャリー
 5 回廊 二匹のモモンカ
 6 ふねあい広場
 7 アニマルショップ
 8 本毛豚のシンデレラ
 9 シロコショウトク
 1 ホットタヌキ
 2 アラミコ
 3 グランドマウマ
 アニマルランド案内図



一番印象的だったのは、このサインである。南海トラフ地震に高知県では神経質になっている。避難場所が明示されたり、津波の予想高さ

を示してある場所もあった。須崎市では20メートル以上もある避難タワーにも登った。

園長曰く、「人間は自分の足で逃げる事ができる。しかし、猛獣を檻から放つことはできない」。それで、猛獣の檻の上の方に避難棚をつけることを考えた。一つの檻に避難棚を作るには100万円もかかるというので、クラウドファンディングを募ったところ、



300万円以上が集まったのだそうだ。それで、4つの檻に避難棚をつけることになったのだそうである。

ただ、ライオンなどは、その棚にはあまり登らないそうだ。草原で生きている動物は高いところが苦手なのかもしれない。雌がなくなったそうで、1頭の雄のライオンが棚の下の方にいた。



小さな動物園で、展示の方法に驚くような仕掛けはなかったが、動物に愛情があるのがひしひしと感じた。動物はほとんどが名前をつけられて、名前と呼ばれていた。檻も決して狭くはなく、歩き回るのには十分な広さがあった。

遊具にも工夫があつて、動物への愛情がこんな所でも感じることができた。(左の写真)

只、動物が1頭だけのところが多くて、悲しく思った。動物の交換などは可能だが、実際は難しい。繁殖をさせすぎてもならないし、遺伝上の事で繁殖させることができないこともある。しかし、狭山市こども動物園では難しいフラミンゴの繁殖には成功しているという。フラミンゴはある数以上でないと

繁殖はしないとすることで、多数のフラミンゴが広いところにいた。カラスがあまりいないのも良いのかもしれない。

私は、今までに北は旭山動物園から南は福岡動物園まで視察した。様々な動物園があつたが、動物園の人々の多くが動物への愛情に満ちていた。展示の仕方にも工夫のあるところが多く、多くの市民に喜んで動物園に来てほしいという思いを感じた。いつも、狭山市こども動物園を思いながら、視察した。今回みて感じたのは、狭山市智光山公園こども動物園にも外に開かれた檻だけでなく、気温を一定にできる館もあれば良いのに、学習できる場所があれば良いのにと考えた。

狭山市智光山公園こども動物園は年間20万人以上も入場者がいる。家畜が中心の動物園で取り分けて珍しい動物がいるわけでないのに、こどもは喜んで動物園に行く。私も年間パスポートを買って、何遍も動物園に行っている。指定管理者が頑張ってくれていることも多い。しかし、まだまだ改善の余地がある。クラウドファンディングなどをして、もっと魅力的な動物園にできるのではないかと。寄付も集めても良いと思う。ボランティアも頼んでも良いと思う。そんな風に思う。

今回の視察も有意義だった。この見聞を市政に反映するために、議員として提言できることは提言していきたい。